

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

飛騨古川のエンターテイナー！
人力車愛！カッコつけて生きていく！

じんりきしゃ ゆい まつなが きょういち
人力車 維 松永 恭一さん



▲観光パンフレットのモデルにも！



▲季節やイベントに合わせた仮装も！



▲古川の街角で。どんなお客様も笑顔に♪

古川の町で目にする人力車。乗ったことはありますか？
気さくな引手さんに声をかけられた方も多いのでは？飛騨古川
の白壁土蔵や、雰囲気のある街並みに溶け込むあの方は
どんな人なのか？今回は、人力車維の松永恭一さんにお話を
伺いました。

町の歴史にも詳しい松永さん。てっきり飛騨の出身かと思
いきや、生まれは鹿児島県。18歳で福岡の大学に進み、電
子工学を学ばれました。まだ今のようなコンピュータが現れ
る前だそうですので、かなり最先端のことを学ばれていたよ
うです。その学びを生かして技術者となり、神奈川で社会人
となりました。今のお仕事とはずいぶん離れた経歴を進ん
できましたが、その後転職して呉服屋さんなどのお仕事に就
かれます。転職や転勤でお隣の高山にたどり着いた松永さ
ん。「和のものや飛騨高山の雰囲気は昔から好きでしたね。
人力車はカッコイイと思ってはいましたが、自分が引くよう
になるとは思っていませんでした。」そんな松永さんですが、
高山で人力車をやっていた知人に『一緒に人力車を引いて
みないか？』と誘われます。「最初は覚えることも多く、すぐ
には引けるようになりません。数日で辞めてしまう人も多い
仕事ですが自分は人力車を引いていると毎日楽しくて、重
いってことも感じないほどです。きっと天職なんだと思いま
す。」10年ほど高山で経験を積み、飛騨古川への進出を果

たします。「ずっと古川の町はいいなあと思っていて。人力
車も似合う町ですし、高低差も少ないので向いている場所
だと思っていました。高山での経験もあったので、お客様を
楽しませることには自信もありました。」

しかし飛騨古川で営業を始めたのは2019年12月。寒さも
感じないほどやる気いっぱいだった松永さんですがコロナで
大打撃を受けてしまいます。「お客さんも来ないから当時は
祭り広場や瀬戸川の掃除ばかりしていました。でも、人力
車と格好のおかげで町の皆さんには覚えていただき、声を
かけていただくきっかけにはなりましたね。」そんな地道な
活動が町の人たちに温かく受け入れられた理由だったのか
もしれません。

新しいことにも貪欲な松永さん。コロナで時間がある間に
は絵を描き始めたり、昨年春には瀬戸川沿いに「あらき
や」という土産物店もオープンさせました。

「65歳くらいまでは人力車を引いていたいですね。それか
ら、飛騨だけではなく、毎年いろんな地域に進出して拠点を
増やしていきたいと思っています。」どんな人も楽しませる松
永さんは生きざまも仕事ぶりもエンターテイナーという言葉
が相応しい方でした。一度松永さんの人力車に乗ってみると、
町の見え方が変わるかもしれませんよ。

基本情報

開 店：2019年12月
主な活動：
人力車 維と、土産物店あらきやを
通して、観光客にも地元の人にも
飛騨古川の良さを伝える。

▼自分で描いた絵をバックなどにして販売！



▲瀬戸川沿いにオープンさせた「あらきや」

飛騨市のまちづくり最新情報はコチラ▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

